



たかぎ はるお
高木 治雄さん(63歳) 愛西市大野山町

安心できるものを届けたい

1ヘクタールの圃場でネギを栽培している高木治雄さん。35年前に奥さんの実家の畑を受け継ぎ、それから専業農家として農業に携わってきました。

農業は常に勉強だと語る高木さん。「露地での栽培は天候も気温も常に変化します。教本通りにいくことばかりではなく、いつでも新鮮な気持ちで取り組んできました」と話します。

この姿勢は栽培だけに限りません。就農当初はキャベツや枝豆なども育て、出荷も個人で行っていた高木さんですが、栽培をネギ一本に絞り、出荷をJAに任せることで栽培に専念できるようになったと話します。「技術や制度などは実際に利用して、良いものであればどんどん取り入れていくようにしています」と語ります。最近ではスマホのアプリを活用して病害虫の判別や対策をしています。

そんな高木さんのこだわりは人や環境にやさしい栽培方法。有機肥料による土づくりや化学肥料の低減に取り組み、この佐織地域でも早期に「エコファーマー」の認定を受けています。「最初は食べる人たちが求めているものを考えてこの取り組みに参加しましたが、化学肥料を減らすことで「コストの削減にもつながりました。また、土壌は栽培の基本です。良いネギを作

るうえでも意味のある育て方ができていると思います」

ネギは昔からこの地域で栽培されており、特に冬に収穫する『越津ネギ』は地域の伝統野菜として有名です。葉と軟白(白根)が半々になっており、この地域では主に鍋物に使用されてきました。高木さんオススメの食べ方はすき焼きで、年末に親戚が集まり鍋を囲うときにはいつもこのネギを使っていると話します。

最後に、「作り手として安全なものをお届けするようにしています。皆さんにもそれを知っていただき、安心して食べてもらいたい」とメッセージをいただきました。

